

【オリコンサルグローバルとBITA社 戦略的パートナーシップを強化】

戦略的パートナーシップを強化

オリコンサルグローバルとBITA社

オリエンタルコンサルタンツグローバルの米澤栄二社長は4日、インドネシアのパンドン市でBITA社のイラワ・クスモ会長と対談し、戦略的なグローバルパートナーシップを強化することで一致した。優先共同事業として位置付ける鉄道事業とTOD（公共交通指向型開発）事業の具体的な案件について協議するとともに、海外展開での両社の協働の可能性を確認し

た。

BITA社は創設43年となる同国の大手総合コンサルテ



イングサービス企業。都市計

画、建築、コンストラクションマネジメントを総合的に手掛けるBITA Encaring、環境分野の計画調査を専門とするBITA Binastemesta、建築、インテリア、ランドスケープを専門とするBAMKORsa Mandiriをファミリー企業に持つ。首都移転計画や首都移転後のジャカルタ特別州の都市計画など、同国の国家戦略にも携わって

いる。

アフリカや東南アジア諸国での海外案件の事業実績・経験も多く、オリコンサルグローバルの現地法人オリエンタルコンサルタンツインドネシアの出資会社でもある。両社は長年にわたり、ジャカルタ特別州エリアの鉄道駅舎や工業団地開発、パンドン工科大学、ガジャマタ大学などの高等教育施設整備事業、インドネシア全国の防災能力改善事業やプラント事業などで共同事業を実施している。